学校法人 浪越学園
日本指圧専門学校
浪越学園だより
JAPAN SHIATSU COLLEGE NEWSLETTER
2011 VOL.3 JULY

平成22年度 第52期生 卒業証書授与式。石塚寛校長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました

平成22年度 卒業式　校長式辞（趣意）

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今日この日を長い間お待ちになられていたご家族の皆様にも、心からお祝いを申し上げます。

本日晴れの卒業を迎えた104名の皆さんは、この3年間本校において学業に精励され、また自身の人格の向上に努められました。悔いのない3年間であったと思います。皆さんの絶えざる学業習得の情熱に対して敬意を表したいと思います。

この学園生活で生涯の友が多く得られ、指圧奉仕活動やクラブ活動を通して色々と得られた体験からは、皆さんの生涯の糧や達成感という自信が得られたことと思います。母校日本指圧専門学校にも感謝し、3年間の思い出を大切にして頂きたいと思います。

さて卒業生の皆様は、これから開業や就職あるいは進学とそれぞれの選んだ道へ、新しい第一歩を踏み出します。いずれの道も皆さんの今後の人生をつくり上げるものです。したがって、いよいよこれからが皆様の真価が問われることになるといってよいでしょう。どうか3年間培ってきた基本指圧、そして蓄えてきた皆様の熱いパワーを全開にして、ひるむことなく自信を持って新たなチャレンジ精神を国内はもとより、先輩達の活躍する世界中で発揮して頂きたいと心から希望します。

これからは患者さんが教科書であり教師であります。患者さんの痛みを理解し、我が校のモットーである母ごころで接し、そして患者さんから充分に学んで下さい。(中略)

母校を愛し、先輩たちの育んで来た名誉を大切にして頂きたいと思います。皆さんの背中には絶えず日本指圧専門学校の看板がついていることも忘れないことです。母校の発展の為にも、同窓生、同級生との団結や親睦を深めて下さい。学校と同窓生の連携は、さらに母校の発展に大きく貢献します。同窓生あっての日本指圧専門学校です。

最後に、夢と希望を持ち、本日母校を巣立つ皆さんの人生に幸あれと祈っています。

（校長　石塚 寛）

喜び溢れて…
第52期生 卒業証書授与式

平成23年3月5日（土）、第52期卒業証書授与式がリーガロイヤルホテル東京（東京・早稲田）で挙行されました。今年度も、卒業証書授与式、謝恩会、合同クラス会の3部構成で行われました。好天に恵まれ、春の訪れが感じられる穏やかな日和の中、これから指圧師として社会へ旅立つ104名を祝福するものとなりました。

厳かな雰囲気の中、石塚寛校長先生より卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されます。それを受け取るために壇上へ向かう学生の姿が印象的でした。また、大久保潤さんの送辞には、卒業生への感謝とこれから最上級生となる責任感が、大澤昌裕さんの答辞には、学園生活に関わった全ての方々への感謝の思いが込められ、それぞれ感銘深いものでした。

式後の謝恩会では、同級生や教職員との歓談、記念撮影、各クラスのDVDの上映など大いに盛り上がりました。教職員も惜別の思いが溢れてきました。

浪越和民理事長より心こもった祝辞をいただきました

本学園理事 煙山力様より祝辞

同窓会会長 青木宏様より祝辞

その後の合同クラス会では、歓談と記念撮影が引き続き行われ、最後に稲場哲夫先生の音頭で指圧のスローガンを大合唱し、全員でクラッカーを鳴らし、母ごころの中で、全プログラムを終えることとなりました。

第52期生の飛躍を心より祈念しております。

（教員　本多 剛）

各クラスのDVD上映なども行われ、大いに盛り上がる謝恩会

東日本大震災を受けて

この度、東日本大震災により被災され、避難を強いられて苦しい生活を余儀なくされておられる皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、不幸にしてお亡くなりになられた方に哀悼の意を表させていただきます。

本校では、在校生・教職員から義援金を募り、継続して日本赤十字社への募金付託を行なうとともに、夏休みには、指圧を通して、被災者の方々の心身のケアの手助けができればとも考えております。

皆様の一日も早い復興と原発事故の収束を心よりお祈りいたします。

本校にも、海外から数多くの暖かいお見舞いのメールが届きました。

その中から、私自身、勇気と活力をいただいた一文を次に掲載させていただきます。

理事長　浪越和民

あなたのお国を襲った地震の後、日本で何が起こっているのか？そして、壊れた原子力発電所からの放射能に直面している危険を大変心配しながら見守っています。

大災害に出遭った日本の人々は威厳、連帯、尊敬、組織力をもって世界の他の市民に模範を示すでしょう。

特に苦しみ、空腹、のどの渇きで疲れ果て破壊と死にかこまれた人々が自制し規律正しく配給を受ける列に並んで辛抱強く番を待つ様子にはこみ上げるものを感じました。この威厳に対する称賛は多くの人の心に刻まれることでしょう。

皆様のご家族が安全であることを祈ります。そしてこの恐ろしい時にあたり仲間である日本指圧専門学校の皆さんとの連帯と肌のふれあいを強くしたいと思います。

浪越指圧ヨーロッパ　スイス支部
Dario Baranzini

海外から届いた、たくさんのお見舞いメール

3年間の勉学の集大成
あん摩マッサージ指圧師国家試験

平成23年2月26日（土）、第19回あん摩マッサージ指圧師の国家試験が東京都豊島区西巣鴨にある大正大学で行われ、本校から104名の3年生が3年間の勉強の集大成である国家試験に挑みました。

朝7時30分、試験会場の大学の開門にはまだ30分も時間があるというのに、門の前にはもう大勢の受験生の姿がありました。2月下旬の寒さにも負けず、本校の3年生の元気な顔もたくさん見えます。その他にも各学校の引率教員・職員、また試験対策のチラシやパンフレット・合格祈願のグッズなどを配布する業者などがひしめき合い、毎年のことですが、静かな土曜の朝にもかかわらず会場の周辺だけは異様な熱気に包まれています。

8時、開門です。受験生は自分の受験番号と会場となる教室を照らし合わせて、どんどん入室していきます。

8時20分、この時間までに受験生は入室しなければなりません。本校の受験生も皆入室を済ませました。このあと、各教室で試験の事前説明があり緊張感につつまれた時間を過ごすことになります。

9時、試験スタートです。午前中の科目は、①医療概論、②関係法規、③衛生学・公衆衛生学、④解剖学、⑤生理学、⑥病理学概論、⑦臨床医学総論、⑧臨床医学各論（一部）です。これらの科目から出題された75問を2時間で解いていきます。

11時、午前中の試験は終了、13時10分まで休み時間です。クラスメートとワイワイ集まってお昼ご飯を食べるのも普段の学校生活のようでホッとする時間です。中には、緊張のあまり食事がのどを通らない人がいたり、午前中の試験問題の答え合わせで盛り上がっているグループがいたり、ぐったりと机に伏せっている人も見えます。一種独特の昼食風景です。

13時10分、午後の試験が始まります。午後の科目は、①臨床医学各論（一部）、②リハビリテーション医学、③東洋医学概論・経絡経穴概論、④東洋医学臨床論、⑤あん摩マッサージ指圧理論で、これらの科目からの75問を2時間で解いていきます。

本校から見事101名合格

15時10分、試験終了です。まだまだ元気な人、足早に会場を後にする人、様々です。今年のあん摩マッサージ指圧師国家試験は終了しました。

そして約1ヵ月後、厚生労働省で合格発表です。本校の卒業生101名が見事合格しました（合格率：97.1%）。

（教務課長　黒沢純一）

高邁な理想を胸に!!
第55期生 入学式

平成23年4月2日（土）、茗渓会館において、第55期入学式が行われました。青い空に桜の花が咲き誇り、新しい門出を飾るにふさわしい日となりましたが、今年は東日本大震災を心に留めながらの入学式でした。

被災者の方々に対する黙祷、開式の辞で始まり、君が代斉唱、新入生120名全員の呼名と進行しました。次に、石塚寛校長先生の式辞、浪越和民理事長の祝辞があり、来賓の成澤廣修文京区長、青木宏同窓会会長より祝辞を頂き、祝電の披露がありました。

在校生代表の大久保潤さんによる歓迎の言葉では、ご自身の現在の学生生活における想いが込められ、新入生の心に残るメッセージとなりました。新入生の宣誓では、淺野香織さんが立派に大役をこなしてくれました。引き続いて学級担任の紹介があり、校歌斉唱、閉式の辞で終了しました。

入学式終了後、クラスごとに写真撮影が行われました。その写真が手に届く頃には、きっと仲間とも打ち解け、初対面だった頃の話に花が咲くことでしょう。

来賓の文京区長 成澤廣修様より祝辞

新入生宣誓を述べた淺野香織さん

垣根を越えた交流を通して

本校は、クラス内はもちろん、他のクラスや学年、昼間部･夜間部を越えて交流が盛んであることが特徴です。これから3年間、勉強、実技、学校行事など、多くの時間を共有していくことになります。たくさんの人と接して、様々なことを学び得て欲しいと思います。新入生の皆さんが実りのある学生生活を送れるよう、教職員一同、応援していきます。一緒に頑張りましょう！

（教員　田中智子）

平成23年度 入学式　校長式辞（趣意）

学校法人浪越学園 日本指圧専門学校へご入学の120名の皆さん、おめでとうございます。ご参列の御父母、御家族の皆様にも本日のお祝いを申し上げます。

本校は故浪越徳治郎先生によって創設され、今年、創立71年の節目の年を迎えました。（中略）

浪越徳治郎先生は入学式に必ずおっしゃられる言葉がございました。それは「発心、実行、継続」という言葉です。皆さんは指圧師になることを願ってこの学校に入る決心をされ、入学試験を突破され、入学を実行されました。これからが勝負所で3年間継続勉強し指圧師としての実力と教養を身につけなければなりません。一つのことを実行し、継続させることは集中力が欠かせません。皆さんはこれから日々色々な事に直面すると思いますが、自分の大きな目的に向かって実行・継続あるのみです。大いに頑張ってください。

（校長　石塚 寛）

在校生代表の大久保潤さんから歓迎の言葉

経験・交流・思い出を生む　学園旅行

記念すべき第10回を迎えて
ハワイ大学解剖学研修旅行

研修旅行は、今年、記念すべき第10回を迎えました。年々参加者数も増え、今回は学生52名が参加して、3月17日～23日にかけて実施されました。

貴重な経験を通じて人体を理解

解剖学研修はハワイ大学医学部で2日間行なわれました。教授のスコット・ロザノフ先生のもとで、1日約6時間、5体の献体でした。52名の学生が5グループに分かれ、全員が献体に触れることが可能でした。各テーブルに大学の先生と通訳がつき、レクチャーは、毎回最新医学に基づいた内容で、理学療法の先生からスポーツメディカルドクターの先生まで、あらゆる分野の先生がいたので、多方面からの身体の見方を総合的に学習できました。日本では決して経験のできない内容であり、指導教員にとっても毎年勉強になるものです。

5泊7日の旅行において、第1の目的は3日目・4日目の解剖学研修ですが、2日目・5日目の完全自由行動日にはハワイを堪能することもできました。

レンタカーで島を回る人、ツアーで他の島を観光する人、ハワイの自然や買い物など、それぞれに楽しい時間となりました。

最後に、本研修を受け入れてくださったスコット・ロザノフ先生と大学関係者に心より感謝するとともに、本研修旅行が学生達に喜んでもらえる有意義なものとなるように、努めてまいりたいと考えております。

（教員　石塚洋之）

52名が参加した第10回ハワイ大学解剖学研修旅行

将来を夢みる伊勢の旅
第52期生　卒業旅行

第52期生の卒業旅行は、3月1日から3月3日までの2泊3日で美しいリアス式海岸と伊勢神宮で有名な伊勢志摩旅行でした。行先は学生からも様々な意見が出されましたが、“日本人なら人生の節目にはお伊勢参りに行こう！”という事でここに決定しました。参加81名の学生とともに新幹線で名古屋へ行き、バスに乗り換え伊勢に入り、外宮、内宮と伊勢神宮を参拝しました。

“鳥羽シーサイドホテル”に宿泊し、懇親会ではみな卒業後の将来のことを話したり、今までのお互いの苦労などをねぎらい、語り尽くせぬ一夜となったようです。

2日目は自由行動で、スペイン村を訪れたり、レンタカーで足を伸ばして奈良まで行った学生もいたようです…。3日目は、再び団体行動となり、鳥羽水族館、二見興玉神社、夫婦岩とバスでまわりました。夫婦岩がある二見興玉神社のお守りは、夫婦円満や良縁に大層ご利益があるそうで、若い学生に紛れて引率教員Tもお守りを買い求めましたが、購入後3ヵ月現在、まだご利益は無いようです…。

その後、名古屋から新幹線に乗り、東京駅にて解散となりました。帰りの新幹線は3年間の学業を終えた達成感と、これからクラスメイトと別々の道を歩むさみしさが混然一体となった何ともいえないよい空間でした。荘厳な伊勢神宮と伊勢の自然は3年間最後の思い出を飾る卒業旅行となりました。

（教員　髙橋雄輔）

大切な仲間との一生の思い出を作りました

絆を深めた伊豆稲取

第54期生　一泊旅行

5月8日、9日にかけて伊豆稲取に1泊旅行へ行ってまいりました。

集合時には、皆の手には酔い止めの薬…ならぬ酒が…。

各クラス、準備万端での出発となりました。

バスで天城峠を越えて向かった先は浄蓮の滝。長い階段を降りると落差25mの滝が出現します。マイナスイオンを身体に浴びてリフレッシュ！また、名産のわさびを使ったわさびソフトクリームは絶品でした。

次に向かったのは、伊豆アニマルキングダム。普段触れることのできないホワイトタイガーに餌をあげたり、小動物と触れ合ったりと、各々が有意義な時間を過ごしました。

そして、宿泊場所となっている“いなとり荘”へと移動。夜は大宴会。学校では見られないクラスメイトの姿を見たり、昼夜間の垣根を越えた交流があったりと、貴重な時間となりました。

2日目はグループに分かれて、筏釣り体験、陶芸体験、蕎麦打ち体験、フルーツ狩り体験、温泉の体験学習を行いました。

この旅行での様々な体験や人と人との交流を経て、クラス、学年を超えた学生同士の絆が深まったことと思います。ここで得られたモノを生かして、益々学校生活を充実したものにして欲しいと願っています。　（教員　中 詩帆）

ひんやりとした空気が心地良い滝の前で

古都鎌倉を訪ねて

第55期生　遠足

本校の遠足の歴史は遡ること何十年、一体いつから始まったのでしょうか。とにかく2年生の1泊旅行、3年生の卒業旅行と並んで長い長い歴史ある行事となっています。

第55期生の今年の遠足は、中間試験の興奮さめやらぬ6月13日鎌倉にて、宝探しの企画で催されました。5～6名の班に分かれてのチーム対抗戦です。4つの暗号がそれぞれある場所を示し、その場所に行くと最後の宝物を推理するキーワードを見つけられます。その宝物に辿り着く順番を競うのですが、これが意外と難しい。正解まで辿り着いたのは19組中わずか3組でした。しかし難しいのが良かった、どのチームも一生懸命に取り組んでいました。2時間半の制限時間ギリギリまでチームで推理し、作戦を練り、歩き回り、そして次第に和やかになっていく、良い体験ができました。

入学して2ヵ月ですが、何事も楽しんでしまうという本校の伝統が早くも受け継がれてきています。先輩たちから遠足の楽しかった思い出など聞かされて、心待ちにしていた学生も多かったようです。

チームに分かれての宝探し。同期生と親睦を深めます

正解を出した3チーム16名には、浪越和民理事長と川原善次郎同窓会会長（6月就任）からのご厚志により賞品が用意されました。さすが理事長！さすが川原会長！お気遣いありがとうございました。

本校の伝統が受け継がれている

さて、遠足の目的はというと、何といっても親睦を深めることなのですが、心配御無用。そもそも遠足に行く前からすでに仲良くなっちゃっています。この遠足でさらに輪が広がりました。夕方5時半に学校に到着した後、どのクラスも有志で宴会を開いたようです。帰りのバスの中でも結構賑やかにやっていたんですけどね。これもまた本校の伝統が受け継がれています。

学生たちが笑顔で帰っていく姿を見送り、今年もいい学生に恵まれて嬉しいなぁと目頭が熱くなる教務課長と担任でした。我々、最近すっかり涙もろくって…。

皆さんお疲れ様でした。浪越学園ってほんとにステキな学校です。

（教員　渡邉和雄）

防災にも真剣！

小石川消防署のご指導による自衛消防訓練

平成23年4月21日（木）、恒例の自衛消防訓練が、3月11日に発生した東日本大震災の記憶が鮮明に残る中で行われました。

年度替りや震災対応で繁忙を極める東京消防庁 小石川消防署から署員を派遣・指導していただき、今までにない真剣な訓練となりました。

学校では、学生と教職員の安全は最優先の課題であり、防火防災には日頃の心構えと訓練の実施が不可欠との思いを一層強くいたしました。

また、今回は初めて「AED」の講習と操作訓練を実施し、有意義な時間と経験を得ることができました。

救助袋を5階から校庭へ設置。5階から30名の学生達が次々と滑り台を滑るように避難しました

AED（自動体外式除細動器）の操作、心臓マッサージ、人工呼吸の講習も行われました

東京消防庁 小石川消防署員の指導のもと、消火器の使い方と実際の消火作業について体験学習をしました

掲示板

活動報告　浪越スポーツ指圧トレーナー部

私が、第4代目部長を引き継いでから、9ヵ月が経ち、引退まで残り3ヵ月となりました。

少人数の時期もありましたが、現在は13名で石塚洋之先生・金子泰隆先生を顧問として活動しています。

学内活動は、毎週木曜日の午後1時から4時まで、主に触診力の向上、施術を受けるアスリートへの説明力の向上の為、知識を修得すべくテキストの読み合わせを行っています。

テキストは、分担して解説する形式を用い、各回ごとに部員がテーマを決めて臨んでいます。

学外活動は、アスリートに対して骨アライメントを指圧によって整え、有効性を実感してもらうことを念頭に、慶応大学水泳部葉山部門、ビーチフットボール関東大会、同全国大会、礫川マラソン大会でトレーナー活動を行っています。

今、迫っているイベントはビーチフットボール関東大会です。灼熱の砂浜で行なわれるこの大会はアスリートが一番過酷ですが、我々も炎天下で施術を続けることになります。

大きな大会のトレーナー活動は一人ではできません。部員が協力し合い、自分ができること、やるべきことを判断、行動し、それがかみ合うことでよい流れを作ることが大事と先生、先輩から教わりました。このような体験ができるのは、浪越スポーツ指圧トレーナー部ならではだと思います。

大会まであと1ヵ月、まだまだ準備が整っていませんが、今年の大会も成功することを信じて頑張りたいと思います。

（3A　松本健二）

活動報告　指圧研究会

私達、指圧研究会は“浪越指圧の効果を科学的に研究する”活動を行っています。

毎週土曜日13：30～16：30に、それぞれの得意分野を生かし、自分のペースで参加することができます。

毎年10月に開催される東洋療法学校協会の学術大会で研究成果を発表し、学会誌に論文が掲載されます。その活動は、後輩たちにも引き継がれ研究が積み重なっていきます。

科学的に浪越指圧を発展させ、且つ世界の信頼を得る機会にもなり得ます。

また、学年を超えての集まりでもあり、勉強や試験対策、実技の練習にもお互いに協力し合えるよう努力しています。興味をもたれた方は、ぜひ一度研究会にお越しください。

（3D　横田真弥）

インフォメーション・スクエア

第7回 学園祭「ゆび祭り」

平成23年7月23日（土）
11：00～17：00

例年大盛況の3年生によるチャリティー指圧をはじめ、2年生による坐位指圧、鉄板焼き、喫茶等々、イベント盛りだくさんで開催いたします。学生の奮闘ぶり、懐かしい学園を見に来ていただければと思います。

また、併せて学校説明会も開催いたしますので、是非ご参加ください。

学　校説明会	第1回　11：00～ 第2回　15：00～

学生募集要項――入試日程

平成24年度の入学試験を、下記の通り実施します。

【社会人入試（一次募集）】
出願期間：平成23年9月1日（木）
　　～ 平成23年9月8日（木）
入 試 日：平成23年9月11日（日）

【推薦入試】
出願期間：平成23年10月6日（木）
　　～ 平成23年10月13日（木）
入 試 日：平成23年10月16日（日）

【一般入試（一次募集）】
出願期間：平成23年11月1日（火）
　　～ 平成23年11月10日（木）
入 試 日：平成23年11月13日（日）

【社会人入試（二次募集）】
出願期間：平成23年11月24日（木）
　　～ 平成23年12月1日（木）
入 試 日：平成23年12月4日（日）

【一般入試（二次募集）】
出願期間：平成24年1月11日（水）
　　～ 平成24年1月19日（木）
入 試 日：平成24年1月22日（日）

※一般入試（二次）は、社会人入試（一次、二次）、推薦入試、一般入試（一次）の合格者で定員に達した場合には実施いたしません。

ホームページを改訂

学校のホームページを新たな装いでアップしてから3年を経過し、その間必要な改定を様々行ってきましたが、この度、広範囲からのアクセスや情報社会の時勢に耐え得るコンテンツを求めて全面的にリニューアルしました。

具体的には、サイトの加除更新、構成の再構築、動画の採用、学園だよりのバックナンバーの掲載などです。

今後とも時代のニーズに即応した情報発信を行う場として、日々革新を図り社会や学校関係者への最新で有用な学校のニュースを提供してまいりますのでご期待ください。

“指圧の日”横断幕にお気づきでしたか？

この横断幕は日本記念日協会登録の「指圧の日」と、お釈迦さま生誕の日（灌仏会―花まつり）のおめでたい両日を祝して作成したものです。

毎年3月中旬から4月いっぱい、学校の門塀に掲出してありますので、機会がありましたらご覧ください――幸運を招きますよ?!!

■後記にかえて――ベトナム、カンボジア紀行

2月19日（土）に指圧事情と人情（？）を求めてベトナムへと旅立った。

3年ぶりの訪越であるが、本間氏（本校26期生、アメリカ・東南アジアで活躍）と妻との3人で気負いのないものであった。

日程は、約1週間で、冬の東京から夏気候の南国へ。

ホーチミン市では、アンさん（マッサージ店経営の実業家）、ソンさん（心臓外科医）、多くの友人達との再会があり、彼の地において指圧とマッサージとの複合的な手技療法を受ける機会があり参考となった。

街での散策、買い物、歓待などひと時の安らぎを経てカンボジアのシェムリアップへ向かった――機上約1時間。

アンコール遺跡群、トレンサップ湖、伝統舞踊「アプサラ・ダンス」、自由市場を見学し、厳しくもあり逞しくもある生活実態の一部を体感でき、国のこれからの発展を心から祈念した。慌ただしくも楽しい3泊4日のカンボジアの旅であった。

27日（月）ベトナムのタン・ソン・ニャット空港から帰国、楽しい思い出を作り、人生に新たな1ページを書き込むことができた――感謝。　（事務長　増田正二）

JAPAN SHIATSU COLLEGE

浪越学園だより　第3号
発行日：2011年7月15日
発行人：理事長 浪越和民
発　行：学校法人浪越学園 日本指圧専門学校
〒112-0002　東京都文京区小石川2丁目15番6号
TEL.03-3813-7354／FAX.03-3816-3551
http://www.shiatsu.ac.jp/
編集・制作：国際医学出版株式会社